

児童発達支援こどもサポートルーム si-po

◆法人理念◆

人生の物語に感動と喜びをともに

◆私たちの目指す姿◆

1. こどもの命を尊重し、その存在を愛します。
2. 全ての人々が主人公の世界を大切にします。
3. こども・家族・地域と絆でつながります

◆支援方針◆

本人の意思を尊重し、個別や小集団など児童に合った環境を設定し、理論と実践に基づく根拠ある療育を提供します。

◆営業時間◆

9時00分から17時00分まで

◆支援内容◆

[5領域項目別支援内容]

健康・生活

目的: **基本的な生活習慣を身に着け、健康で安全な生活ができるよう支援します。**

サポート内容

生活習慣の確立

- ・活動の切り替え時や外出、登園時の手洗い・うがい等の衛生習慣の習慣化
- ・内外でのトイレの自立（排泄のタイミングや清潔な使い方の支援）
- ・靴・衣服の着脱や自分の持ち物の管理と整理整頓を身に着ける

健康管理と安全意識の向上

- ・体調や身体の変化を伝えられるように「〇〇が痛い」「気持ちが悪い」「疲れた」など
- ・ケガや事故防止のためのルール理解/交通ルール・道路の歩き方、危ない物の取り扱い等
- ・緊急時対応練習（避難訓練や応急手当・クールダウン）
- ・活動と休憩のバランスをとり、過緊張や過活動を予防し、無理のない環境づくり

食べる事に関連するサポート

- ・お友達や先生と一緒に心地よく食べる体験を通して食事中の姿勢や口腔機能の向上を図る
- ・快適に食べる事につながる食具の正しい使い方（スプーン・フォーク・箸）

自立をサポート

- ・活動の中での主体性を経験し、自分の選択に対する肯定感を育む声かけ
- ・役割分担の経験を通じた生活力の向上

2. 運動・感覚

目的: 体を動かす楽しさを感じながら、運動機能や感覚統合を高める支援を行います。

サポート内容

触覚の発達的な誘因

- ・ 自然の中の素材を用いた遊びで様々な感触と心の動きを経験する
- ・ 触れ合い遊びやマッサージやブラッシング(感覚過敏・鈍麻の調整)

前庭感覚(バランス感覚)の支援

- ・ ブランコ・すべり台・ジャングルジムなどの遊具を使った遊び
- ・ 揺れやバランスや回転を感じる遊びを自主的に取り組む

固有受容覚(身体の位置の動きや感じる力)の支援

- ・ 綱引き・押し合い・トンネルくぐりなど、で筋力やバランスを鍛える遊び
- ・ ぎゅっと抱きしめる・圧をかける遊び(スクイーズ遊び)や木登り遊び

視覚・聴覚の感覚

- ・ ボールを追いかけたり、パズルを組み立てたりする活動を通して目と手の連携を強化し、空間認識・視覚情報処理能力の向上
- ・ 音楽や言葉などの聴覚情報に合わせて体を動かす遊び(リズム運動など)

手先の動きの活動

- ・ 微細運動を取り入れた遊びや手作業(紐通し・ボタン留め・折り紙・ハサミ)
- ・ 指先を使ってじっくり遊びこめる活動(積み木・レゴ遊び、絵を描く・粘土など)

3. 認知・行動

目的: 環境からの情報を正しく処理し、正しい行動が取れるように支援します。

サポート内容

基本的な認知能力の発達支援

- ・ 遊びや関わりの中で色・形・数の要素を取り入れ認識を高める
- ・ ワクワクする遊びの中で、空間体験による空間認知能力の向上(パズル、迷路、折り紙、地図・影遊び・光遊び・スポーツ・宝探し・外遊び)

記憶力・思考力の向上

- ・ 実際の体験を通して自身の記憶を振り返ったりフィードバックする
- ・ 主体的・探求的な活動による思考力向上への取り組み

問題解決力の育成

- ・ 活動時のトラブルや冒険や体感型ゲームなど、実際の場面での問題解決への取り組み

- 試行錯誤を伴うパズルや組み立て遊びを仲間と共に協力して話し合っ

ルールの理解と行動の調整

- 自分たちの遊びを守るためのルール設定を考察し、決めたルールの守り方も考える。
- ルール作りに視覚的なヒントをふんだんに取り入れる(絵カードやスケジュール表)

自己コントロール(感情・行動調整)

- 集団活動の中で自分の気持ちや相手の気持ちを感じることを大切にする。
- 心の中を言語化・視覚化していくことで行動調性の促進ができるよう

適切な行動を起こさせる

- 内的動機付けを大切に共感と安心感の中で活動参加・展開を経験し自発性を育む
- 外的動機付け有効場面を取り入れ、肯定的な声かけ等で望ましい形で動機付けし、目標設定のプロセスと行動の持続を経験する

4. 言語・コミュニケーション

目的: **言葉やジェスチャーを使って自分の気持ちを伝えられるよう支援します。**

サポート内容

基本的なコミュニケーション能力の向上

- 言語・非言語にとらわれず様々なコミュニケーションを取りあう
- 意思表示を目的とし、自分に合った方法を身に着ける(絵カード・文字・ジェスチャー)
- 「おはよう」「ありがとう」など心地よく過ごせるための基本的な挨拶等の習得

広がりや表現力の向上

- ストーリーのある遊びを通して言葉の意味理解を促す(絵本・物語・演劇・ごっこ遊び)
- 好きな感覚を通してアートの要素を取り入れながらも言葉を引き出す関わりをする(表現)

相手の気持ちを考える力を育む

- 活動の中で感情カードを使い相手に気持ちを表現する
- こども同士の対話を通じた共感力の育成

5. 人間関係・社会性

目的: **他者と他者の力や社会的ルールを学び、集団の中で適切な行動ができるよう支援します。**

サポート内容

基本的な対人関係の形成

- 愛着形成支援をベースに信頼できる大人や友達との関わりを積み重ねる
- 集団活動の中でソーシャルルールの共有やスキルの確認を習得し集団生活を豊かに過ごす経験を